



風車に戦いを挑んだドン・キホーテの像



丘の上の風車群



麓の街コンスエグラを望む



遠方からカルデリコ丘を望む

カルデリコ丘の風車群

世界で2番目に読まれている物語「ドン・キホーテ」(1番目はハリーポッター)。

騎士道に狂ったドン・キホーテが、丘の上の風車を怪物だと勘違いし突撃したエピソードは有名です。

ラ・マンチャ州のコンスエグラには現在12基の風車が遺されています。風車の中に小さな売店があるだけの観光地ですが、極力人手を加えることのない、ありのままの姿を見せることに注力しているようです。

奈良にも、弥生時代後期の邪馬台国から平城京のあった奈良時代まで、日本の

政治と文化の中心で歴史上のエピソードがたくさんあります。戦国時代や幕末が人気ですが、飛鳥時代や奈良時代にもスポットが当たってほしいものです。



旧市街を三方から囲むタホ川の対岸から



旧市街の麓の絶壁

トレド旧市街

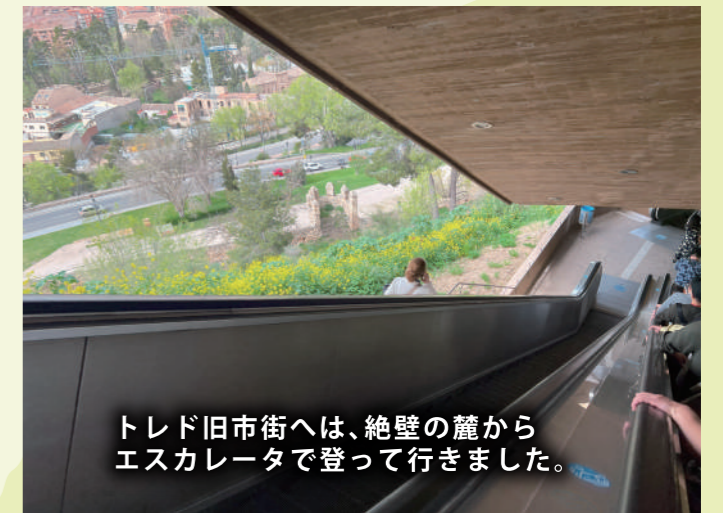
三方をタホ川、一方を絶壁に囲まれたトレド旧市街は、中世の街並みをそのまま残す街で、かつて都が置かれていました。

しかし、四方を囲まれている立地から、それ以上街を拡張させることはできず、マドリッドに遷都されることになりました。

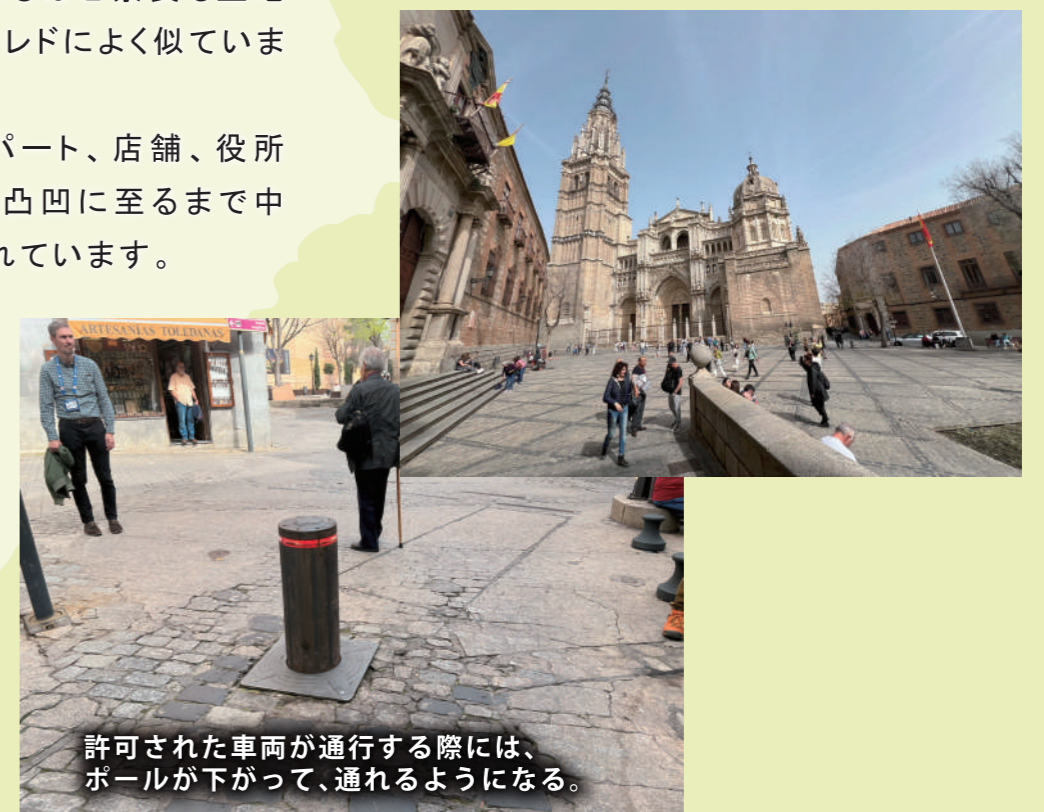
ところで、トレドは奈良市と姉妹都市提携しています。なるほど奈良も盆地に囲まれた古都、トレドによく似ていますね。

旧市街では、アパート、店舗、役所の建物から石畳の凸凹に至るまで中世の様式で統一されています。

古いものをそのままの状態で維持し、それが見事にくらしの中に息づいています。



トレド旧市街へは、絶壁の麓からエスカレーターで登って行きました。



許可された車両が通行する際には、ポールが下がって、通れるようになる。